

# 平成26年度年報



【平成27年2月道南地域における森林再生の取組とボランティア活動発表会  
(函館市／勤労者総合福祉センター)】

森林ふれあい推進センターは、

国有林野を活用し、自然再生や生物多様性の保全に取り組むNPOや森林環境教育に携わる教育関係者等の活動を技術的に支援する組織として、平成16年4月に設置されました。



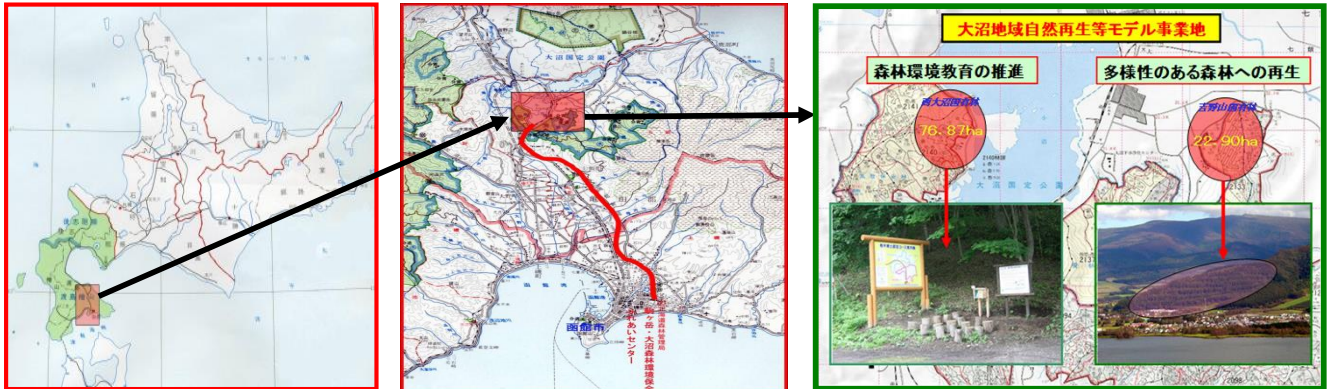
林野庁 北海道森林管理局  
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

# 大沼地域自然再生等モデル事業の取組

モデル事業地は、大沼国定公園エリアに所在し、漁業関係者から水質保全、観光関係者から景観の維持向上、自然保護関係者から鳥獣生息環境の維持向上等が強く求められているなど、環境保全や森林整備に係る関心や期待の高い地域となっています。

このため、モデル事業の推進について、自然保護関係者や民間ボランティア団体等の代表者で構成する検討委員会を開催し、モデル事業地の箇所の選定、森林の取り扱い、事業の推進方法等についてのグランドデザインを作成するとともに、地域等が大沼地区の国有林に求めているニーズをモデル事業に反映するよう努めることにしています。

「大沼地域自然再生等モデル事業」は、地域住民等と連携し、「**多様性のある森林への再生**」と当該地及び近接地において「**森林環境教育の推進**」を主とし、取り組みを進めることとしています。



＝ 検討委員会 ＝

- 平成16年度グランドデザイン作成のために3回実施。
- 平成17年度～平成26年度「グランドデザイン」に基づく事業内容の検証及び検討のため年に2回実施。

## ☆ 「大沼自然豊かな森づくり協議会」の開催

平成26年4月21日（月）、南北海道大沼婦人会館（七飯町）において、18名の委員が参加し第10回「大沼自然豊かな森づくり協議会総会」を開催しました。宮崎会長を議長に平成25年度の実行内容、26年度の計画と実行体制について事務局より提案の後、討論を行いました。

委員からは、「モデル林は、他の先を行かなければならない、10年間かけ意見交換をしてある程度の方向性が決まった。」「これからは、広葉樹林化を加速できるのではないか」などの意見が出されました。併せて、役員体制については全員が再任され、今後も会長を中心として、自然再生等の各種事業実行に当たり、お互い協力・連携を図り取り組むことを確認し総会を終了しました。

★当協議会は、大沼地域自然再生等モデル事業のグランドデザインに基づき、森林の再生活動を行うことを目的として平成17年4月に組織されたものです。



協議会参加団体等名
大沼漁業協同組合
大沼町内会連絡協議会
大沼の水と緑を守る会(NPO)
北海道国際交流センター(NPO)
北方森林鳥類調査室クマゲラ研究会(NPO)
函館地方国有林退職者緑の募金推進協議会
21世紀の道南の森づくり事業実行委員会
個人会員及び関係行政機関

# ☆ 多様性のある森林への再生

大正14年植栽ドイツトウヒ人工林と昭和56～58年植栽トドマツ人工林、及び昭和27年度植栽カラマツ人工林の22,90haの森林を、地域ニーズを踏まえた生物・水質・景観など多様性のある森林へ誘導します。【具体的には、周辺の天然林を参考とした森林へと育成します】



多様性のある森林への再生箇所において、様々な取り組みを行っています。  
平成26年度の主な実施内容は、次のとおりです。

## 「下刈作業」の実施

平成26年7月14日（月）、大沼地域自然再生等モデル事業の「多様性のある森林への再生箇所」において、大沼自然豊かな森づくり協議会の参加団体から総勢23名により、下刈作業を実施しました。

作業地は吉野山国有林（七飯町）のドイツトウヒ伐採跡地で、平成18年にミズナラやトチノキの実を播種した箇所で行った。苗木は2メートルを超える雑草に覆われており、参加者は雑草をかき分け、苗木を切らないよう慎重に鎌を振り、作業を行っていました。



## 「国際ワークキャンプ」の受け入れ

「国際ワークキャンプ」とは、世界中から集まった若者が一緒に生活しながら、「森林の手入れ」、「動植物の保護」、「有機農業の支援」、「学校の建設」など地域での環境ボランティア活動を行う「国際ボランティアプロジェクト」で、世界約100か国、約3,000箇所で行われています。日本では国際ボランティアNGOのNICE(ナイス)が「国際ワークキャンプ」の企画、運営、参加者の募集等の事務を行います。日本各地に協力団体があり、北海道では函館市にある「北海道国際交流センター」が受皿団体になっています。

当ふれあい推進センターでは、吉野山国有林（七飯町字大沼）で実施している「大沼自然再生等モデル事業」において、自然再生等への取組の一環として、各種森林ボランティア活動の機会を提供しています。今年も、フランス、スロバキア、ロシア、スペイン、韓国、香港、台湾、日本など8カ国、17名の20代を中心とした若者が、ここ大沼に集合しました。

当センターが担当する”森林ワーク”では、7月29日から9月3日までの10日間、下刈や歩道修理などの作業をサポートしていただきました。

概要説明及び安全指導



当年度集合写真



道局による「ゼロ炭月間」安全指導



下刈作業



ランチタイム



除伐Ⅱ類作業



## 森林生態系観察会の実施

平成26年11月10日（月）に、大沼地域自然再生等モデル事業の箇所（吉野山国有林2133林班）にて、総勢17名の参加のもと、森林生態系観察会を実施しました。当日は、長谷委員を講師に招いて昨年除伐Ⅱ類作業を実施した際、採餌木を発見した箇所でも説明した後、4班に分かれて鳥類調査を実施しました。吉野山における鳥類等を真剣に観察し、参加者全員検討し合い、今後の施業に役立てて行きたいと思ひ、大変有意義な一日となりました。

採餌木箇所における説明



## 第1回自然再生検討委員会の開催

平成26年12月1日（月）に、大沼地域自然再生等モデル事業の箇所（吉野山国有林2133林班）について、各委員14名の参加のもと、「第1回大沼地域自然再生検討委員会」を開催しました。議題は吉野山国有林における今後の計画、吉野山植生調査の実施及び吉野山森林生態系観察会について意見交換を行いました。各委員から出された貴重なご意見をモデル事業に最大限反映させるよう取り組んでいく予定です。

第1回自然再生検討委員会





## 道南地域における森林再生の取組とボランティア活動発表会の実施

平成27年2月15日（日）に、函館市勤労者総合福祉センターにて、総勢70名の参加のもと、道南地域における森林再生の取組とボランティア活動発表会を実施しました。当日は、北大の松永勝彦名誉教授が「植林による大沼の水質浄化 ～アオコの発生防止～」をテーマに基調講演をしました。また、当協議会の宮崎司さん、木村マサ子さんによる活動報告、パネルディスカッションによる意見交換など、今後の森林再生の取り組みに役立てて行きたい、大変有意義な一日となりました。

北海道大学名誉教授の松永勝彦さんによる基調講演



パネルディスカッション



一般参加者による傍聴



宮崎司さんによる活動報告



木村マサ子さんによる活動報告



## 第2回自然再生検討委員会の開催

平成27年3月2日（月）に、大沼地域自然再生等モデル事業の箇所（吉野山国有林2133林班）について、各委員15名の参加のもと、「第2回大沼地域自然再生検討委員会」を開催しました。議題は吉野山国有林における今年の実施状況、次年度における事業計画について意見交換を行いました。

なお、この自然再生検討委員会については設立当初の目的であったグランドデザインの作成及び長期の施業計画を立てたことから区切りをつけることとしました。各委員から出された貴重なご意見をモデル事業に最大限反映させるよう取り組んでいく予定です。

第2回自然再生検討委員会



# ☆ 森林環境教育（樹木博士認定会）の推進

西大沼国有林の樹木博士認定常設コース（平成16年10月オープン）を拠点とし、森林に対する関心と理解の醸成を図る活動を実施しています。

具体的には、森林環境教育の指導者の養成等のための樹木博士認定会の開催や研修会等を実施し、森林環境教育を推進します。また、多様性のある森林への再生活動（吉野山国有林）においても森林環境教育を実施することとしています。



樹木博士認定常設コース



常設コース看板



認定会の様子

## 樹木博士認定会とは

樹木の名前や識別方法を学習した後、樹木名を答える試験を行うもので、それをきっかけとし、森林に親しんでもらうことを目的とした森林環境教育（アウトドア活動プログラム）のひとつです。

## 樹木博士認定コース

子ども樹木博士認定活動推進協議会（平成12年設立 現会長：木平勇吉東京農工大学名誉教授）のプログラムを採用し、平成16年には、この活動を地域に広めることと森林環境教育に関する指導者の養成を図るための活動の拠点として、誰でもいつでも利用できる「常設コース」を大沼国定公園内の西大沼国有林（七飯町）に開設し、対象者を子ども達だけではなく一般にも広げ、毎年定期的（年4回）に開催しています。



樹木博士認定コース案内板

## 進め方

1時間程度の樹木の説明を受けた後、樹種名（20～30種）を答える試験を行い成績に応じて段級（最高位は10段）を与え、認定書を授与します。



樹名板

認定書

## コース概要

- ◆ コースの距離 事前学習コース [ 450 m ]  
テストコース [ 390 m ]  
周 遊コース [ 2050 m ]
- ◆ 試験 樹 種 46種（ブナ・ミズナラ・スギなど）



左写真はセンターで作成した「樹木ガイドブック／全70ページ」（平成23年3月発行）

このガイドブックにより、樹木の説明を行います。



平成26年度の樹木博士認定会の取組については、公募により6月、7月、8月、9月の4回の定期開催を実施しました。また、より多くの挑戦者の参加を期待して、函館市教育委員会で取り組んでいる生涯学習講座「HAKODATEまなびっと広場」に参画し、選択科目の一つとなっています。

定期開催の結果の内容等については、次のとおりです。

第1回開催（西大沼）



第2回開催（西大沼）



第3回開催（西大沼）



第4回開催（茂辺地）



本年度の定期開催の参加者総数は42名であり、そのほとんどは大人の常連者であることから、子ども（教育機関等）への働きかけが必要となっています。

### ● 定期開催結果

回数	認定会日時等	参加者	内訳
第1回	6月 1日（日） 10：00～12：30（西大沼）	11人	子供 0、大人11
第2回	7月 6日（日） 10：00～12：30（西大沼）	12人	子供 1、大人11
第3回	8月 3日（日） 10：00～12：30（西大沼）	9人	子供 2、大人 7
第4回	9月 7日（日） 10：00～12：30（茂辺地）	10人	子供 1、大人 9

### ● その他開催

森林への誘い講座・とうや子ども社会体験	56人	子供48、大人 8
---------------------	-----	-----------

### ● 樹木博士認定状況

平成26年度末 累計	2,201人（平成12年度の旧函館分局から行ってきた計です。）
------------	---------------------------------

# ☆ 森林づくり塾2014 開校

目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林中での楽しみ方を体験し、理解を深め、森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成を目的としています。

森林づくり塾の取組については今年度で8年目となります。参加者は公募を行った結果、函館市近郊から27名となり、森林作業を中心とした全6回の講座を実施しました。

各講座の実施内容については、次のとおりです。

## 第1回講座

第1回は、5月25日（日）江差町の砂坂海岸林にて、講師に森林インストラクターの高橋武夫さんを招き、総勢42名にて「海岸林を理解するための観察会」を実施しました。

当日は、行きのバスの中で砂坂海岸林の成り立ちや周辺の農地の生い立ちなど説明を受け、海岸林を散策しながら植物群落、森林の構成、土壌断面の観察を行いました。

また、今年度より渡島総合振興局東部森林室との最初の連携企画であり、東部森林室「森への誘い講座」の受講者は18名参加されました。



## 第2回講座

第2回は、6月15日（日）七飯町軍川のカリマ国有林にて総勢14名にて「下刈作業」を実施しました。

当日は、時折雨がばらつく悪天候のなか、腰の高さまで伸びた雑草に苦戦しながらも植栽木のミズナラなどを傷つけないように慎重に作業を行いました。

この場所は、昨年まで毎年2回刈りでしたが今年より1回刈りに変更し終了しました。



### 第3回講座

第3回は、7月27日（日）函館市柳町の五稜郭保安林にて渡島総合振興局東部森林室「森の誘い講座」と連携し総勢25名が参加して、草刈りなどの清掃作業を実施しました。

この五稜郭保安林は、約150年前五稜郭城築城時に植栽されたアカマツ林など1.8ヘクタールが風致・保健保安林として指定され、市民の憩いの場となっております。



### 第4回講座

第4回は、8月24日（日）北斗市「茂辺地自然体験の森」にて総勢14名が参加して、新しく整備した樹木博士認定コースにおいて、樹木博士認定会を実施しました。

その後、午後から「蛙の沼」及び「展望台」などの自然体験の見所を巡りながら、植生観察を行いました。



### 第5回講座

第5回は、9月21日（日）七飯町軍川国有林にて渡島総合振興局東部森林室「森の誘い講座」と連携し、総勢22名にてトドマツ人工林除伐Ⅱ類作業を実施しました。

当日は、さわやかな晴天に恵まれ安全指導の後3グループに分かれて作業し、参加者からは、「始めて伐倒・玉切りをやりとても疲れたが大変貴重な体験をした。」と大好評でした。



### 第6回講座

第6回は、10月5日（日）恵山国有林にて講師に北海道アウトドアガイドの自然観察指導員木村マサ子さんを招き、渡島総合振興局東部森林室「森の誘い講座」と連携し、総勢26名にて植生観察会を実施しました。

当日は、健やかな晴天のもと恵山の自然と津軽海峡を見渡す絶景を堪能しながら、ガンコウランを始めとする数多くの高山植物を観察しながら登山しました。



# ☆ 自動撮影装置による野生動物調査

当センターでは、大沼周辺(七飯町)の森林における野生動物(中大型哺乳類等)の生息調査を実施しています。

- 調査目的・・・野生動物の生息状況を長期的に記録し、その変化と環境の変化とのかかわりを研究する。
- 調査方法・・・自動撮影装置(カメラ)による撮影  
(焦電型赤外線センサーに反応する動物を撮影)  
(平成26年度よりデジタルカメラを導入)
- 調査時期・・・年2回(夏、秋)実施

自動撮影カメラの設置



## PHOTO



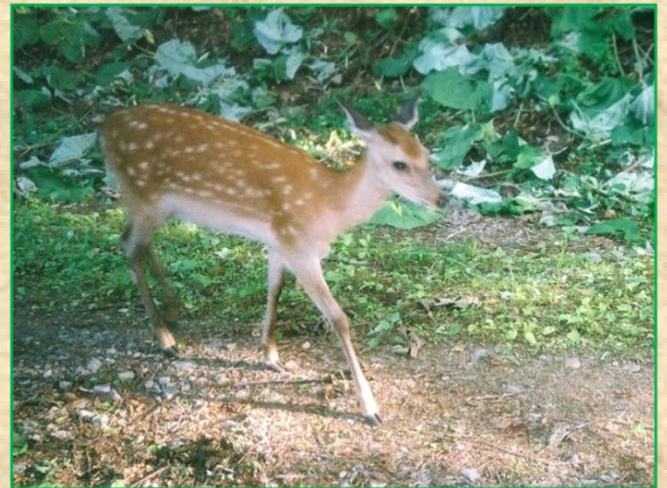
タヌキ



コウモリ



エゾリス



エゾシカ



ヒグマ



キツネ

## ☆ 森林環境教育

### 🌲 はこだて花と緑のフェスティバル2014に参加

平成26年6月21日（土）・22日（日）、はこだてグリーンプラザ（松風町）において、「はこだて花と緑のフェスティバル2014」が開催されました。

当ふれあいセンターはその両日に参加し、自然再生モデル事業の活動、森林環境教育の取組、森林で見られる花や動物の写真を「パネル展示」で紹介したほか、「カミネッコン作り」を行いました。

当ふれあいセンターのブースでは、パネルを見学したり、親子や夫婦でカミネッコン作り体験を行うなどたくさんの方々の賑わいを見せ、たいへん有意義な2日間となりました。



### 🌲 どうやこ子ども社会体験 樹木博士認定会の支援

平成26年7月30日（水）、「どうやこ子ども社会体験」の小学校3年生から中学校3年生までの29名が参加して実施しました。

これは、洞爺湖町が主催する地域の特性を生かした多様な体験やボランティア活動を通して青少年活動のリーダー養成を目的としたプログラムであり、当ふれあいセンターは西大沼国有林で樹木博士認定会の開催による支援を行いました。

当日は、樹木博士認定常設コースにおいて15種類の樹木の学習を行い、樹種名を覚えた後、認定テストを実施しました。参加者は、バス移動と当日の暑さのため多少疲れがみの子供も見られましたが、普段はあまり入る機会のない森林の中で樹木の説明を熱心に聞き入っていました。



### 🌲 檜山森林管理署（厚沢部町）主催「グリーンスクール」に協力

平成26年9月18日（木）、江差北小学校を対象とした、檜山森林管理署主催「グリーンスクール」が江差北小学校で開催されました。

当日はあいにくの雨で、毒蛾発生への懸念もあり、学校内にて、5・6年生を対象としたビデオによる視聴覚教育、子ども樹木博士を担当しました。

児童たちは、当時の砂坂海岸林のビデオを見ながら先代の住民が苦勞しながらここまで立派な海岸林になったことに感心しながら聞き入って、そして海岸にある10種類の樹木の葉っぱによる説明、試験を真剣に解答し、有意義な一日となりました。



## **ひとみ保育園「森の教室」ドングリ植えを支援**

平成26年10月11日（土）、渡島みどりネットワーク主催による函館市ひとみ保育園の児童が「森の教室」ドングリ植えを行い、当ふれあいセンターは4名の講師による支援を実施しました。

当日は、朝からあいにくの雨模様でしたが、小学生7名を含む17名が参加しました。

全員でミズナラ96本を植え、最後に「ひとみっこの森」と書かれた看板を設置し無事終了しました。



## **「道民森づくりネットワークの集い」に参加**

平成26年10月18日（土）、道庁赤レンガ庁舎前庭（札幌市中央区）を会場に「道民森づくりネットワークの集い」が開催されました。

当センターからは、今年度実施した「大沼地域自然再生等モデル事業」「森林環境教育」などの取組や、や駒ヶ岳・大沼の自然を紹介するパネル展示し、活動内容や国有林を取り巻く自然環境のPRを行いました。



## **渡島東部森林室主催「森への誘い講座」を支援**

平成26年10月22日（水）、渡島総合振興局渡島東部森林室主催「森への誘い講座」が、七飯町の樹木博士認定常設コース（西大沼国有林）で開催され、当センターは樹木博士認定会の開催による支援を行いました。

当日は、参加者24名の熱心に勉強する姿勢や、自然を満喫し楽しむ風景が見られるなど、それぞれが充実感をもって終了することができました。



## **平成26年度国有林野事業業務研究発表会(森林ふれあい部門)で発表**

平成26年12月4日（木）、林野庁において、平成26年度国有林野事業業務研究発表会が開催されました。

当ふれあいセンターからは、「木の名前を覚えよう～『樹木博士認定会』の取り組みについて～」と題し、これまで10年間実施してきた樹木博士認定会の開催状況、実施手順、課題等を取りまとめた発表を行いました。永年取り組んできたこれらの実績が評価され、当センターの発表課題は森林ふれあい部門で全国森林レクリエーション協会会長賞を受賞することができました。



## 平成26年度の活動一覧

年月日	曜日	実施内容
H26.4.21	月	第1回大沼自然豊かな森づくり協議会を開催(南北海道大沼婦人会館)
H26.5.25	日	第1回森林づくり塾(砂坂国有林)
H26.6.1	日	第1回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H26.6.8	金	「函館有斗高等学校 希望の森づくり」下刈作業を支援(カリマ国有林)
H26.6.15	日	第2回森林づくり塾(カリマ国有林)
H26.6.18	水	「函館柏稜高等学校 永久の森づくり」下刈作業を支援(カリマ国有林)
H26.6.21	土	はこだて花と緑のフェスティバル2014に参画(函館市)
H26.6.22	日	はこだて花と緑のフェスティバル2014に参画(函館市)
H26.7.3	木	(~H26.7.24)野生動物自動撮影調査(カリマ国有林等)
H26.7.6	日	第2回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H26.7.14	月	大沼自然豊かな森づくり協議会の下刈作業(吉野山国有林)
H26.7.27	日	第3回森林づくり塾(五稜郭保安林)
H26.7.29	火	(~H26.9.3)国際ワークキャンプ(吉野山国有林等)
H26.7.30	水	とうやこ子ども社会体験樹木博士(西大沼国有林)
H26.8.3	日	第3回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H26.8.24	日	第4回森林づくり塾(茂辺地国有林)
H26.9.7	日	第4回樹木博士認定会(茂辺地国有林)
H26.9.8	月	(~H26.9.11)ふれあいセンター等事業検討会(北見市)
H26.9.18	木	江差北小学校の森林教室「グリーンスクール」で樹木博士認定会(江差北小学校)
H26.9.19	月	(~H26.10.3)野生動物自動撮影調査(カリマ国有林等)
H26.9.21	日	第5回森林づくり塾(軍川国有林)
H26.10.5	日	第6回森林づくり塾(恵山国有林)
H26.10.11	土	ひとみ保育園「森の教室」ドングリ植え(カリマ国有林)
H26.10.18	水	道民森づくりネットワークの集いで情報発信パネル展示(札幌市道庁前)
H26.10.21	火	えさん小学校 恵みの森づくり事業事前学習会の支援(恵山町)
H26.10.22	水	渡島東部森づくりセンター「森への誘い講座」で基本講座の支援(西大沼国有林)
H26.11.10	月	森林生態系観察会(吉野山国有林)
H26.12.1	月	第1回大沼地域自然再生等検討委員会を開催(南北海道大沼婦人会館)
H26.12.4	木	平成26年度国有林野事業業務研究発表会を開催(林野庁)
H27.1.29	木	北の国・森林づくり技術交流発表会を開催(札幌市 かでる27)
H27.2.15	日	道南地域における森林再生の取組とボランティア活動発表会を開催(函館市 勤労者総合福祉センター)
H27.3.2	月	第2回大沼地域自然再生等検討委員会を開催(南北海道大沼婦人会館)

# 主な活動実施区域



西大沼（にしおおぬま）国有林



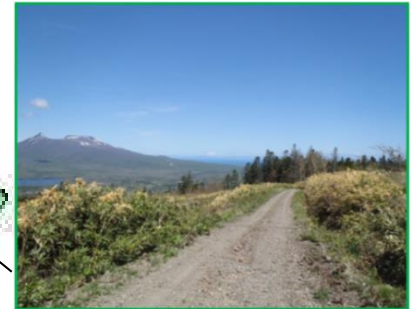
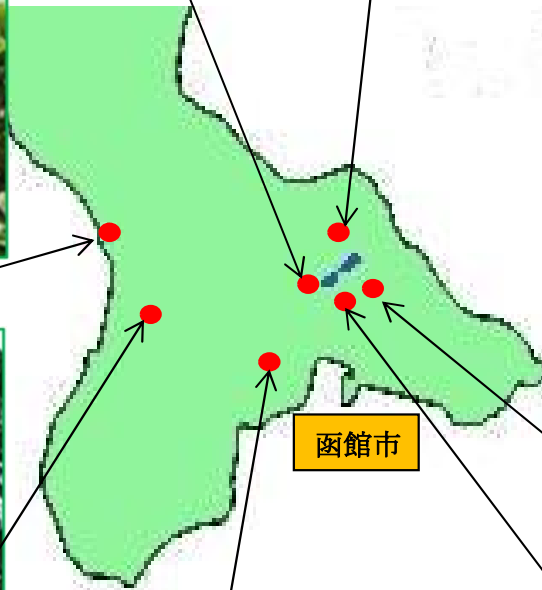
駒ヶ岳（こまがたけ）国有林



砂坂（すなさか）海岸林



椴川（とどがわ）国有林



カリマ国有林



茂辺地（もへじ）国有林



吉野山（よしのやま）国有林

国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。

林野庁 北海道森林管理局  
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

〒042-8550 北海道函館市駒場町2-13

TEL 0138-51-0381

FAX 0138-51-8178

E-mail [h\\_koma\\_f@rinya.maff.go.jp](mailto:h_koma_f@rinya.maff.go.jp)